



和歌山で生産されたモノ。和歌山で生まれたもの。
海と山と川、そして綺麗な空に恵まれた和歌山には、
こんなにも素敵なモノに溢れています。



和歌山生まれ



白い花を咲かせる除虫菊。金鳥の蚊取り線香には、
今でも香りづけのために除虫菊が使用されている。

蚊取り線香 かとりせんこう

大日本除虫菊株式会社

夫婦の努力とひらめきが生んだ夏の風景

日本の夏に欠かせない蚊取り線香。発
明したのは、和歌山県有田市のみかん農
家に生まれた上山英一郎。1885年(明
治18年)、福沢諭吉の紹介で、アメリカで
植物会社を営むアモアと出会い、除虫菊
の種子を譲り受けた。除虫菊に含まれる
天然の殺虫成分に着目した英一郎は、仏
壇にたむける線香をヒントに、1890年
(明治23年)に棒状の蚊取り線香を発明
した。

しかし当初の蚊取り線香は燃焼時間が
約40分しかない。思い悩んでいたある日、
妻のゆきが蔵の中でとぐろを巻く蛇の
姿を見た話を聞き、渦巻型にすることを
思いついた。その後も英一郎は試行錯誤を
重ね、燃焼時間約6時間という画期的な
商品を作成させた。そうして1895年
(明治28年)に発明した「金鳥の渦巻」は、
一晩中使える便利さから全国へ広まり、や
がて日本の夏を象徴する存在になる。

現在、英一郎が創業した大日本除虫菊
株式会社は、時代に合わせた幅広い商品
を展開。同時に、「100年先も愛され続
ける商品」という思いとともに、昔なが
らの蚊取り線香づくりを大切に継承して
いる。



金鳥、の渦巻型蚊取り線香は現在、有田市の紀州
工場と海南市の和歌山工場のみで製造。発売当初か
ら続くレトロなパッケージデザインも魅力だ。

大日本除虫菊株式会社・紀州工場

住所／和歌山県有田市山田原180
電話／0737-82-3281